

Title	穀価調節策論を評す(下)
Sub Title	
Author	河津, 暹
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.4 (1915. 4) ,p.365(1)- 376(12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150401-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150401-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

▽市内は御報次第見本豊富に御高覧に可供候  
▽地方は大略價格及御報御報被下候は、見本及容易なる採寸法を送り可申候

### 價格表

- サックス(三ツ揃) 金 拾七圓以上
- スプリング オート 金 拾五圓以上
- コート(クラツァネット) 金 拾七圓以上
- トリツキ 金 拾五圓以上
- 大學生服 金 拾三圓以上
- ヘル制服 金 拾三圓以上

躍進の□□□春 卒業の□□□春

進級の□□□春 入學の□□□春

▽咲く花の色にも 鳴く鳥の音にも

明敏、清新の氣充實せり

されば**貴下の新服裝**は□□□□

▽裁縫技術の明敏と、生地の清新なるを以て

誇りとせる**澤田洋服店** 銀座尾張町

**貴下の新服裝調製の第一人者たり**

□倫敦ミニスマー □組育ミツチエル □シカゴストン等の各裁縫學校及歐米斯業大家は特に弊店のために時々流行通信を報し來り隨て弊店裁縫部は英米各専門の設備を有するに依り貴下は英米何れの型を擇ばるゝも自由なり

## 三田學會雜誌第九卷第四號

### 論說

#### 穀價調節策論を評す(下)

河津 暹

#### 第三節 穀價の調節と倉庫制度と取引所制度

予輩は前節に於て國家が直接に穀物を賣買して以て穀價を調節するの國民經濟上害あつて益なきことを論じ賢明なる政府當局者はかゝる愚策を用ふることなかるべきことを希望したり然るに事予輩の希望に反し政府は大藏大臣をして適當なる時期に於て適當なる數量を買上げて之に由りて米價を騰貴せしめんとせ

り。大隈首相は特に經濟財政の智識に富むと聞く、然るに尙この愚策を敢てして怪まざるに至つては予輩長大息せざるを得ず、予輩が前節に於て論じたる所は主として我國政府が帝國議會に提出したる米價調節案に關するものなれども其論旨の多くは移して政府の實行したる政策の評語となすべく、從てこゝに繰返す必要を見ずと雖も、予輩の見る所を以てすれば、政府の實行したる所のものは曩に帝國議會に提出したるものに比して更に劣れるものゝ如し、故に本論を進むるに先ち一言するの要あるを覺ゆ、曩に議會に提出したる調節案に由れば千五百萬圓を以て米穀を買上げて以て其價格を騰貴せしめんとするものなれども、政府の實行したる所は其買上ぐべき金額を指定せず、大藏大臣が便宜之を買上げて以て米價調節の目的を達せんといふなり、故に極端なることをいへば實際には毫も買上げずして單に直ちに之を買上ぐべしと揚言して以て米價が釣上るを得ば或は實際に買上をなさざるやも知る可らず、現に米穀市場に於ては政府は買上げたりともいひ否買上げずとも噂す、勿論其の浮説の孰れが當れりやは知るに由なし、這中の消息は當局者並に其の旨を承けて運動するものに非れば知る可らざるなり、政府の

なしたる所は憲法上合法なりや否やは暫く之を論せず、然れども少くとも立憲政治の精神は公明正大にして秋毫の秘密を藏せざるに在りとすれば政府のなす所は立憲政治の精神に悖ることなきやを疑はざるを得ざるなり、更に極端なる想像を逞くすれば、政府當局に比較的に近接する投機者が所謂早耳にて巧に投機を行ひて巨萬の富を成すことを得れども、然らざるものは却て損失を招かざるを得ざるやも知る可らず、政府當局はこれ等二三の投機者に私して利益を得せしむるの意思はあらざるべし、然れども結果に於てはかくの如き非難を生せざるを得ず否爲に損失を招きたるものゝ眼よりすれば政府はこれ等二三子に私したりと爲すべし、而も其のことたる經濟社會自然の勢なれば諦めもすべし、然れども其價格の變動は人爲に出でたるものなれば必ずや怨嗟の聲到る所に起らざるを得ざるべし、公明なる政治家のなす所豈かくの如きものならんや、或は辯すべし、政府は米價の低きを以て國民經濟上憂ふべしとなしたるが故に、之を救濟するが爲に行ひたるものにして眼中國家社會あるのみ豈他あらんやと、予輩は其事の眞なるを信せんとす、然れども目的は必しも手段を神聖にせず、其の目的はたとひ一點の非難す

べきものなしとするも、手段にして宜しからざる時は其の影響憂ふべきものなしとせざるなり。況んや米價を釣上ぐることは國民經濟上一點の非難すべきものなしとすること能はざるに於てをや。若し政府にして自ら投機を行ふの俑を作るに於ては後の政府は種々の口實を設けて自ら投機を行ひ爲に經濟社會を攪亂することなきを保せざるなり。政治の水準の下落を見て其改善を見ること能はざるなり。予輩大に現内閣の爲に惜まざるを得ざるなり。而も爾後の米價の變動を見るに予輩の想像したる如き騰貴を見ず、政府は之を以て既に穀價を調節し得たりとなすか。若し夫れこの程度の米價の騰貴を以て満足し得べしとならば、或は政府は何等の政策を弄せずとも其結果を見たりしやも未だ知る可らざるなり。故に曰く政府の實行したる所は議會に提出したる調節案に比し劣るとも優る所あらざるなりと。

予輩は計らずも我國現下の問題につきて秃筆を弄すること多きに過ぎたり。予輩の信ずる所を以てすれば、上に縷々述べたる如く穀價の如きは區々たる小策を弄して之を上下せしむべきものに非ずして、成るべく需要供給の攝理に由りて決せしむべきのみ。若し政府のこの間になすべきものありとすれば、需要供給の攝理を妨ぐるものを除却するにあるのみ。而して其の需要供給の攝理はいふまでもなく成るべく廣く行はるゝを以て國民經濟上利益なりとす。こゝに於て予輩は穀價調節と倉庫並に取引所制度との關係につき一言せざるを得ざるなり。

倉庫並に倉庫證券の商業上利益とする所は主として商人又は生産者の倉庫等を利用せんとするものをして成るべく長き時日に亘りて最も有利なる機會を捕捉せしむるにあり。倉庫並に倉庫證券の制なき時はこれ等商人又は生産者は一方に於て生産したるものを完全に保管すること能はず、よし之を完全に保管し得るも其費用に堪えず、價格の騰貴するを待たずして之を賣らざる可らず。然るに之を完全に保管することを得る倉庫の制ある時は之を保管せしめて徐ろに有利なる機會の來るを待つことを得るのみならず、倉庫の制に結んで物權的效力ある倉庫證券の制あるを以て、之を利用すれば生産品の賣渡は勿論之に由りて融通の利便を得べきなり。之と同じ道理に由り、農業者は穀物倉庫を利用する時は穀價にして廉きに失すと見れば、價格の恢復するの日を待つことを得べく、農業者にとりて利益

決して少しとなさず、求めずして穀價の調節をなすことを得べきなり。勿論農業家と雖も各倉庫ありて必しもこれ等穀物倉庫を利用するの必要なきが如しと雖も其設備甚だ不完全にしてよく穀物を保管貯蔵すること能はず。鼠害の如きも全國に積りては驚くべき巨額に達すと聞く。而のみならず、倉庫證券を運轉利用して融通の利便を得ること能はざるなり。獨りこれ等の利便に止らず、國民經濟上利益あり米穀の如き代替性を有する貨物に至つては、穀物倉庫が之が委託を受くるに當りて嚴密なる検査を行ひ以て等級を附するが故に或意味に於ては之を利用せんとする農家を鞭撻して米穀の品種を改良せしむべき結果あるべく、且つこれ等米穀の如き比較的廣き市場を有するものに在りては各地に散在するよりは或場所集中する時は自ら勢力を生じ、從て有利なる條件を以て賣捌るゝ利益あり。故に穀物倉庫の如きは農家をして最も有利なる機會を捉へて米穀を賣放たしめ、併て證券の作用に由りて融通を得せしむる效果あるものなり。予輩は米券倉庫の發達は少くとも大局より見て穀價調節に大に利益ありと信せんとするものなり。需要供給を比較的廣き範圍に於て調節せしむるの效あるを信すればなり。由來倉庫制

の如きは商業上最も大切なる機關なるに拘らず、我國に於ては其の商業上の技術尙未だ幼稚にして例へば銀行等の如き商業機關と比較すべくもあらず、只僅に穀物倉庫は他に比較して稍見るべきものなりといふ。予輩は常に之を遺憾とす。故に一面に於て穀物並に保管倉庫の制の普及と並に之を利用する習慣の大に興らんことを希望すると同時に其の商業技術の大に發達せんことを希望せざるを得ざるなり。これ等にして大に發達する曉にはいはゞ廣き市場と長き時間とに亘りて需要供給を調節することを得る譯なれば、穀價調節の上より見て上に陳ぶるが如き人爲的に穀價を高低せしめて穀價の調節をなすを得たりと稱するに比し優るものなりといはざるを得ざるなり。倉庫制度並に之れが利用につき注意あらんことを希望す。

或はいふ。農業家は予輩等の憂ふる如く迂遠なるものに非ず常に市場の景氣を研究して如才なく賣買掛引して利益を得んとするもの尠からず、中には大阪等大取引所の相場を電報等にて取寄せて巧に行藏進退をなすものあり。換言せば、農業家は單に農業のみを以て満足せずして同時に商業否投機までなして利益を多から

しめんとするなり、是れ寧ろ喜ぶべきことに非ず、農業の如き地味な行方を喜ばずして商業の派手な行方をなさんとする結果は自然危険の程度が増加せざるを得ざるが故なり、農業家の爲に計るに寧ろこれ等商業特に投機に陥ることを避けて眞面目に農生産にのみ力を盡すを以て得策とす。予輩を以て之を觀るに大に然らず、農業者が商業家の爲に壓せられて市場の景況を知らず、其のなす所に任して獨り苦しむが如きは決して國民經濟の大局より見て喜ぶべきことに非ず、農業者も工業家商業家と伍して一步も引を取らぬ覺悟あることを望ましけれ、穀物の賣買の如きもよく市場の大勢を見て行藏進歩を決すべきものなり。若し農業家にしてよく市場の大勢に通ずるに至れば穀價の如きも相當の理由ありて高低するものなることを知り曾て法外なる高價を見れば之を以て普通のこと、心得少しく之より廉き時は兎角賣惜しみ而かも到底豫期する如き價格の出づべからざることを知るや周章狼狽して其の貯藏する所を賣放ちて穀價の亂高下を生じ、却て大なる損失を招くことある可らざるを信せんと欲す。換言せば或程度までは農業家が經濟社會の大勢に通せざること、が穀價の亂高下を生ずる原因なりと信せんと

するものなり、予輩は取引所の相場の高低に通ずるを以て經濟社會の大勢に通ずるものとは思はず、否、我國取引所の如きは經濟社會と極て密接なる關係を有するものとは思はれざるが故に、農業家は之等を離れて眞摯に經濟社會の趨勢に明ならんことを希望するものなり。經濟社會の趨勢に伴ひて行藏進退せんと欲せば穀物倉庫の如き商業機關を十分に利用せざる可らざるなり。農業家にして俄に經濟社會の大勢に通ずること難しとならば、農業家が團體を設けて少しく經濟社會の大勢を研究することあるべく、世の識者先覺者も徒らにこれ等農業家の目前の利益のみを以て之に阿ねることを已めて眞面目に其の行藏進退の道を講すべきことを誨むざる可らず。我國米價の變動の甚しき一は米穀が小麥の如き世界的産物商品の域に達せざると、之れが商業機關が尙未だ甚だ不完全不整頓なるに起因すと雖も一は農業家が經濟社會の趨勢に遵ひて行動せず、之を指導すべき先覺者もよく之を指導せざる等夥多の原因幅濶して遂にかくの如き結果を生ずるものなりと信するものなり。要するに予輩を以て之を觀るに農業家が眞面目に商業を解し、商業機關を利用する曉には、穀價は比較的適當に調節せらるべきものなり。既に

比較的適當といふ以上は穀價が常に一定の水準を保つものに非るを意味す。獨り穀物に限らず如何なる貨物と雖も、一定の水準を保たしむる如きは到底望み得べきことに非るなり。

取引所制度の穀價調節に及ぶ影響も倉庫制度に略相似たり。取引所は大取引の中樞なり、四方に散在せる需要と供給とを集めて之を調和せしめんとするものなり。故に取引所制度にして善ければ、取引所に於ける價格は最もよく其國經濟の實情需要供給を反映せしめざる可らず、其の需要供給や獨り其の瞬間に於ける需要供給に非ずして、其市場を動すべき原因の顯るべき時日に亘りての需要供給なれば、取引所に於ける價格は最も合理的ならざる可らず、取引所に於ける價格にして低きは其の低からざる可らざる原因ありてのことなり。其の原因にして除却せられざる限は其の價格の騰貴を見ること能はざるなり。區々たる調節策の如きは之を如何ともす可らざるなり。故に取引所制度の改善は穀價調節に至太の關係あり。悲し哉我國取引所制度はこの理想に遠かること甚しくして取引所に於ける米價の如きは正直に米穀の需要と供給とを反映せず、世人も之を以て米穀の需給を反

映するものとして多きを望まざるなり。予輩は我國取引所に於ける價格の變動と泰西諸國に於ける取引所の價格の變動とを比較して、後者の遙に經濟社會の實情を反映し従て世人も取引所に生じたる價を以て一般市場の價格の標準として之に重きを置くを見て私に羨望に堪ゆるものあり。故に我國經濟の發展の爲に取引所制度の改善を希望して已まざるものあり。取引所制度の改善については數々愚見を發表したることあるが故に之を繰返さず、只希望する所は其の組織をして成るべく廣き地域に亘りての需要と供給とを反映せしむるに在り、故に我國に於ける小取引所の如きは無益有害のものなれば之を淘汰して大取引所に集中せしむべきは勿論、其の取引する貨物の範圍も亦成るべく廣からざる可らず。この觀察點よりすれば米穀の格付の如き獨り本邦産に限らず殖民地の産米の如き之を格付表に加へて以て本邦産米と同じく取扱はしめざる可らず。然るに穀價を騰貴せしむる爲にこれ等殖民地産米の格付を禁したる如きは經濟の理法に逆行するものといはざる可らず。予輩は其の不可なるを信するものなり。

以上論述したる所を要約するに穀物の如き社會多數のものに由りて需要せら

れ、從て其の價格の高低は直にこれ等のものゝ利害休戚に至大の關係を有するものは需要供給の自然の理法に由りて其價格を定めしむべきものにして、人爲的に之が調節を謀るが如きは害こそわれ決して益なきものなり。若し夫れ其國の商業機關にしてよく需要供給を反映すること能はざる場合にはこれ其の機關の組織等の不完全なるが爲にして之を改善してよく其目的を達せしむるこそ却て穀價の合理的ならしむる所以にして國家のなすべき所之を措いて他あらざるなり。

### クロバトキンの史觀

田中萃一郎

倫敦の近郊に優々餘生を樂める露國の虛無主義者クロバトキン公は曾て一九〇二年に於て Mutual Aid の一書を著はして反個人主義の思潮を鼓吹したり。この書は目するに普通の史籍を以てす可からずと雖も、過去の制度を解剖して社會生活の變遷を闡明せるが故に帝王將相の傳記を控除して他に何物をも剩さざるが如き従來の史籍の缺點を補ひ得可きものあり。英國新進の評論家ホルブルック・ジャクソン氏の如きこの書に現はれたるクロバトキンの史觀を以て民主的に歴史を解釋し得たるものなりとし、是を基礎として政治上の新理想を確定し得可しと推稱せり。クロバトキンの史觀に果してかゝる價值ありや否やを論斷せんとせば、先づその所説を稽查せざる可からざるなり。